

(1) 教員免許状

ア 幼稚園教諭一種免許状

(1) 心理教育学科では、幼稚園教員養成を目的とした免許取得課程を設置している。免許取得課程を選択した場合は、以下に示すような所定の科目を履修し、その単位を修得しなければならない。この選択のために、幼稚園教諭免許状取得のための特別オリエンテーションを行う。

(2) 免許取得に必要な具体的な科目・単位は、大きくは、教養教育科目と専門教育科目に分けられる。

1) 教養教育科目

・教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目・・・8単位 <表1>

教養科目では、「日本国憲法」「体育（講義・実技）」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」が必修科目である。

2) 専門教育科目

・領域及び保育内容の指導法に関する科目・・・14単位 <表2>

・領域に関する専門的事項・・・・・・・・・・6単位 <表3>

・教育の基礎的理解に関する科目等・・・・・・・・21単位 <表4>

・大学が独自に設定する科目・・・・・・・・14単位 <表5>

専門教育科目は、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「領域に関する専門的事項」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」「大学が独自に設定する科目」で構成される。教育職員免許法及び同法施行規則に定められた修得すべき最低単位数は次の<表2><表3><表4><表5>のとおりである。ただし、「大学が独自に設定する科目」には、最低単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「領域に関する専門的事項」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」を充てることができる。

<表1> 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目と最低履修単位数		本学部に設置されている科目・単位数・履修方法・開設年次				
科目名	単位数	科目名	方法	単位数	必修・選択の別	開設年次
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	2	必修	1・2・3・4
体育	2	健康・スポーツ科学	講義 演習	1	必修	1・2・3・4
		健康・スポーツ実技	実技	1	必修	1・2・3・4
外国語コミュニケーション	2	CS:Presentation	演習	2	必修	1・2・3・4
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	講義 演習	1	必修	1・2・3・4
		データサイエンス・リテラシー	講義 演習	1	必修	1・2・3・4

<表2> 幼一種免・領域及び保育内容の指導法に関する科目と心理教育学科設置科目

免許法施行規則に定める科目と最低修得単位数			心理教育学科に設置されている科目・単位数・履修方法・開設年次			
科目名		単位数	科目名	方法	単位数	必修・選択の別 開設年次
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	14	保育内容総論	講義	2	必修 3
			保育内容演習(健康)	演習	2	必修 2

			保育内容演習 (人間関係)	演習	2	必修	2
			保育内容演習 (環境)	演習	2	必修	3
			保育内容演習 (言葉)	演習	2	必修	3
			保育内容演習 (造形的表現)	演習	2	必修	3
			保育内容演習 (音楽的表現)	演習	2	必修	2

<表3> 幼一種免・領域に関する専門的事項と心理教育学科設置科目

免許法施行規則に定める科目と 最低修得単位数			心理教育学科に設置されている科目・単位数 ・履修方法・開設年次				
科 目 名		単位数	科 目 名	方法	単位数	必修・選 択の別	開設 年次
領域に関する 専門的事項	健康	2	身体表現 1	演習	2		3
	人間関係	2	人間関係論	講義	2		3
	環境	2	環境教育論	講義	2		2
	言葉	2	言語習得論	演習	2		2
	表現	2	音楽表現 1	演習	2		3

*最低修得単位数を超えて履修した科目は、「大学が独自に設定する科目」に充てることができる。

<表4> 幼一種免・教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則に定める科目と 最低修得単位数			心理教育学科に設置されている科目・単位数 ・履修方法・開設年次				
科 目 名		単位数	科 目 名	方法	単位数	必修・選 択の別	開設 年次
教育の基 礎的理解 に関する 科目	教育の理念並びに教 育に関する歴史及び 思想	10	教育学概論 1	講義	2	必修	1
			保育原理	講義	2		1
	教職の意義及び教員 の役割・職務内容(チ ーム学校運営への対 応を含む。)		教職概論1	講義	2	必修	2
	教育に関する社会的、 制度的又は経営的事 項(学校と地域との連 携及び学校安全への 対応を含む。)		現代教育社会学	講義	2	必修	1
	幼児、児童及び生徒 の心身の発達及び学 習の過程		発達心理学1	講義	2	必修	2
	特別の支援を必要とす る幼児、児童及び生徒 に対する理解		特別支援教育1	講義	2	必修	2

	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		保育・教育課程総論	講義	2	必修	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育方法論1	講義	2	必修	2
	幼児理解の理論及び方法		教育・学校心理学 A (教育心理学)	講義	2	必修	3
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		保育相談支援	講義	2	必修	3
教育実践に関する科目	教育実習	5	幼稚園教育実習(含事前事後指導)	実習	4	必修	4
	学校体験活動		学校体験活動	実習	1	必修	1
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2	必修	4

※最低修得単位数を超えて履修した科目は、「大学が独自に設定する科目」に充てることができる。

*幼稚園教育実習(含事前事後指導)の4単位は、学内実習(実習のための事前・事後指導)1単位と、幼稚園で行う学外実習3単位をあわせたものである。

<表5>教幼一種免・大学が独自に設定する科目と心理教育学科設置科目

免許法施行規則に定める科目と最低修得単位数		心理教育学科に設置されている科目・単位数・履修方法・開設年次				
科目名	単位数	科目名	方法	単位数	必修・選択の別	開設年次
大学が独自に設定する科目	14単位 ただし、最低修得単位数を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」「領域に関する専門的事項」「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」と併せて14単位	心理学概論	講義	2		1
		社会・集団・家族心理学 B(家族心理学)	講義	2		3
		臨床心理学概論	講義	2		1
		多文化保育・教育論	講義	2		2
		発達心理学2	講義	2		2

※この14単位には<表3><表4>にある科目を充てることもできる。

(3) 幼稚園教育実習について

幼稚園教諭免許状の取得には学内実習(実習のための事前・事後指導)1単位と、幼稚園で行う学外実習4単位(学校体験活動1単位、幼稚園教育実習3単位)の計5単位が必修である。事前事後指導は、実習に出る当該年次に行う。具体的には、4年次の6月あるいは10月に3週間の実習に出るので、当該年次の前期に開設されることになる。

幼稚園実習の実習園の公立・私立の別は、希望地域の選択によって異なることがある。ただし地域の実情に応じて希望に添えないこともある。幼稚園の選択については、3年次にガイダンスを行うので必ず出席すること。

また、公立・私立の別及び実習希望地域等について、事前に実習委員会の担当教員に相談することが望ましい。

(4) 幼稚園教諭免許状を取得するには、以下の条件を満たしておく必要がある。

①卒業後、幼稚園教諭の職に就きたいという強固な意志を有していること。

②「幼稚園教育実習」の開始時期までに、前述の＜表1＞＜表2＞＜表3＞＜表4＞＜表5＞において、原則として3年次までに開設されている必修科目（選択必修科目を含む）の単位を修得していること。

(5) 幼稚園教諭免許取得課程は、保育士資格取得課程と80%程度の科目が重複しており、両方の課程を履修し、資格・免許を取得することは十分可能である。どちらか一方のみ取得することも可能であるが、地方自治体によっては、両方の資格・免許を持っていないと、採用試験の受験資格が得られない場合があるので十分に注意すること。